

KANAKELI

県内ビジネス情報イッキ読み!

Biz Log

※本誌全てのコンテンツの無断転載・複製・転用を禁じます。

2022 VOL.101 5月号

(発行) KANAKELI

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

相模原商工会館 本館 1F

(制作) 神奈川新聞社

会社経理の専門集団
りんくグループ

042-730-7881
www.link-tax.com

ちょうどいい
りんく

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシロジスティクス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

弱酸性の次亜塩素酸除菌液、じわり普及

ワンウィル、発売2年で累計2万本以上

ワンウィル(横浜市中区日本大通、☎045-664-5211)が製造販売する弱酸性次亜塩素酸消毒・除菌液「ジアミスト」がじわりと普及している。

新型コロナウイルス感染拡大が始まり、アルコールなどの除菌液が市場で不

足していた2020年2月に商品化。以降、現在までに国内で累計2万2000本を販売した。

消臭と除菌効果を併せ持つという。食品添加物であり、水道水や食品工場などで殺菌剤として使われている「次亜塩素

酸ナトリウム」に対し、「酢酸」を配合。

会社によると、通常の除菌液は時間の経過とともに次亜塩素酸の濃度が減っていくものの、同商品は酢酸を配合したことなどで、除菌に有効とされる塩素濃度pH5~5.5がある程度持続するという。

価格が1800円(税別、500^l、7^l)、4800円(同、4^l)と手軽なことから、リピートしやすいとして、大手飲料メーカーやホテル、空港、食品工場などに納入。現在は横浜市内の産業支援機関などでも採用されている。

また、今年3月まで横浜市や、横浜商工会議所などが共同実施した若い

世代に対するワクチン接種促進キャンペーン「ワクチンplusキャンペーン」にも賛同。同商品を提供した。

山本信章社長は「(コロナ禍で)たくさんの除菌商品が出回っていますが、その中でも、この商品の良さが分かり、使ってくれる人が増えていったら」と語っている。



「次亜塩素酸消毒・除菌液」の普及は、コロナ禍による衛生意識の高まりが背景にある。従来の除菌液は、アルコールや塩素系漂白剤が主流だったが、アルコールは乾燥しやすく、塩素系漂白剤は刺激性が強いという課題があった。ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。

ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。

ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。

ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。

ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。

ワンウィルは、弱酸性の次亜塩素酸を主体とし、消臭効果も兼ね備えている。これにより、家庭や職場での使用が容易になり、普及が進んでいる。